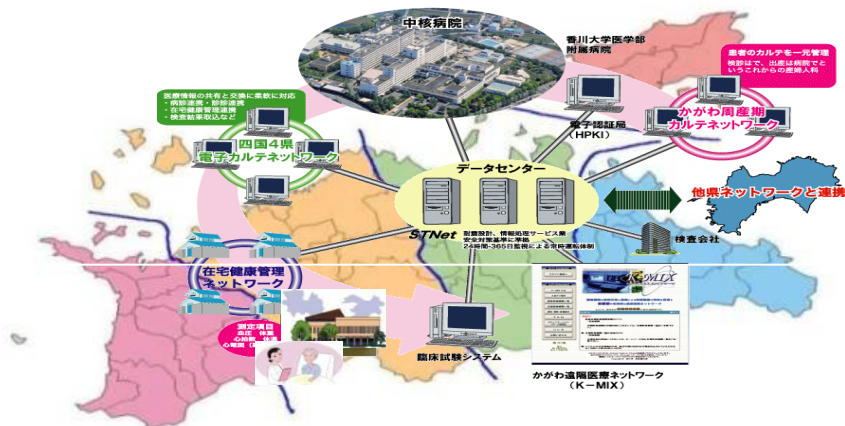


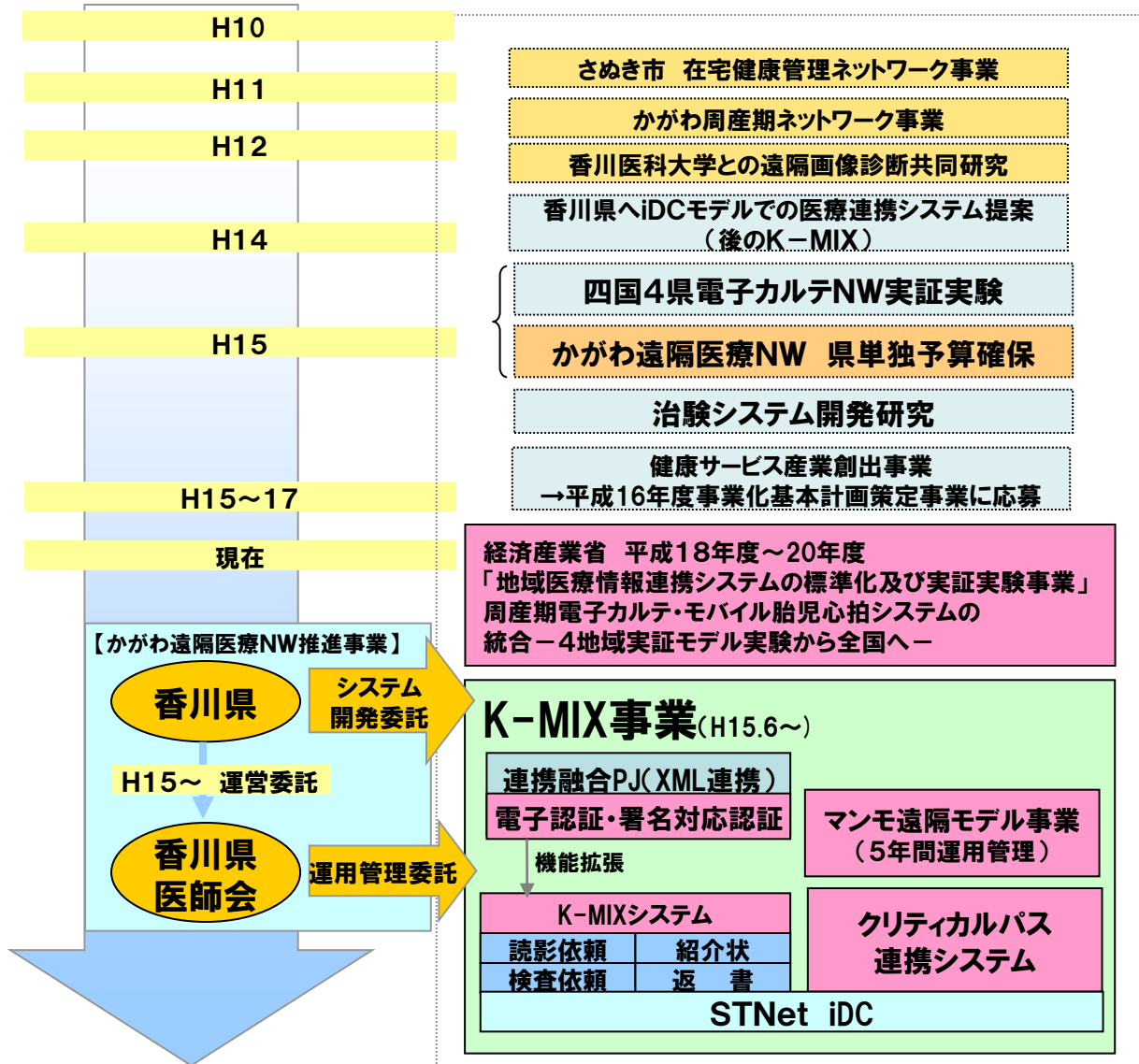
経済産業省委託事業
「健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業」

香川県下での地域医療情報ハブ「eヘルスケアバンク」推進プロジェクト



平成22年2月
かがわeヘルスケアコンソーシアム

香川県下での医療IT関連の取り組み概要

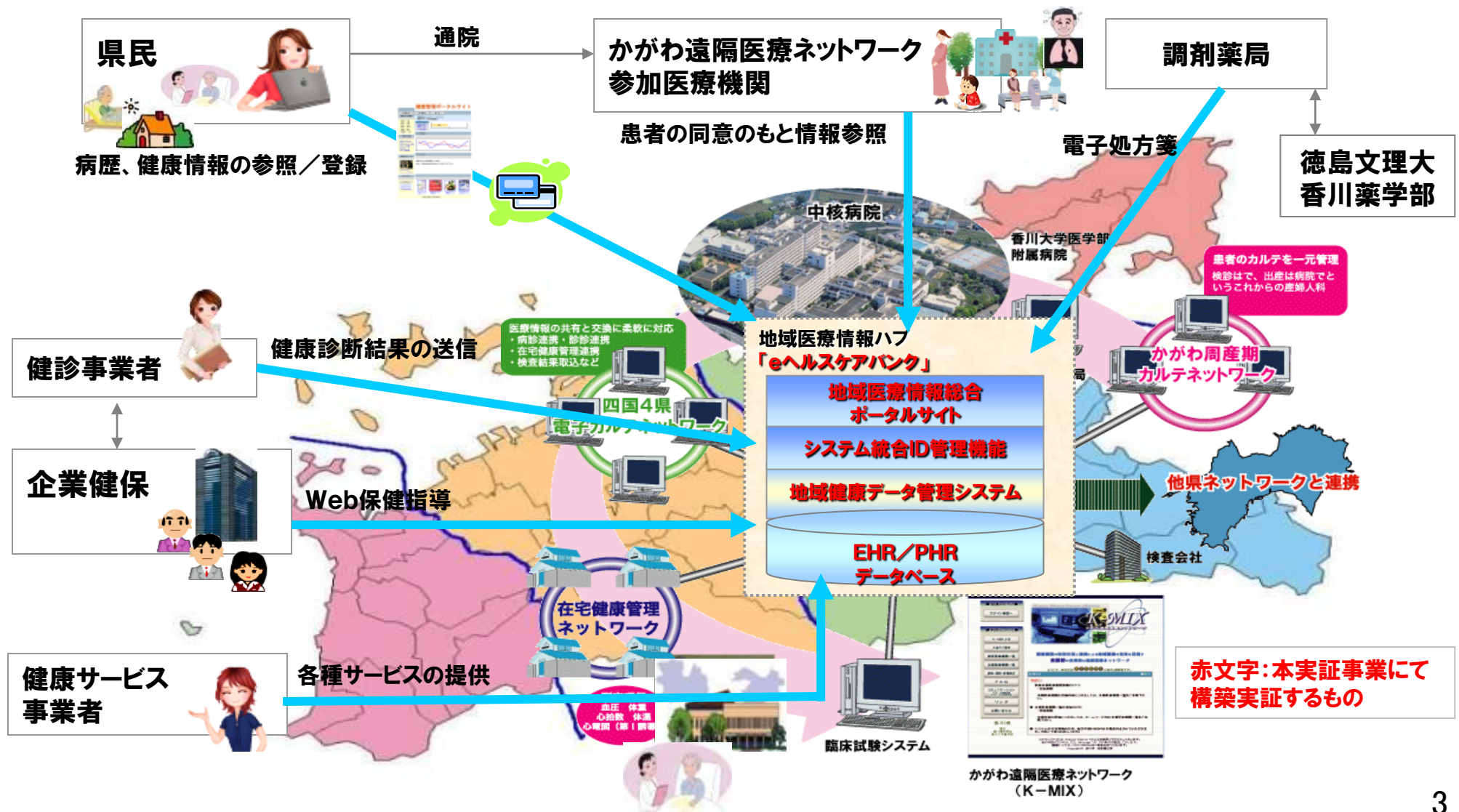


公的機関と関連プレイヤー

- 香川大学医学部
- 香川県医師会
- 香川県医務国保課
- 四国電力(認証局)
- STEP
- 富士通
- ミトラ
- STNet
- 日本メディカル
- 東芝メディカル
- キタムラメディカル

○ かがわeヘルスケアコンソーシアムにおけるPHR実証事業の内容(1/4)

地域医療情報ハブ「eヘルスケアバンク」を中心に県全体を対象に様々な情報集約／提供サービスを展開する。



「eヘルスケアバンク」により、医療・健康情報へのアクセス利便性を高め、県民の健康意識向上を図る。

香川県下での地域医療情報ハブ「eヘルスケアバンク」の実証のため、下記の内容を実施する。

- 1. PHR／医療情報統合データベースの構築による総合的なヘルスケア情報の提供**
 - ・医療・健診・健康情報等を集約管理するデータベースを構築し、県民個人毎の情報を一元的に管理可能とする。
- 2. 地域健康データ管理システムの開発による個人健康管理手段の提供**
 - ・県民のヘルスケア情報を管理するPHRシステムとして、「地域健康データ管理システム」を開発する。
 - ・システム認証には、FeliCa技術を利用した地元交通機関発行のICカード「IruCa」を用いた認証機構を実装。
- 3. 地域医療情報総合ポータルサイトの開設と、システム統合ID管理機能の開発による利便性の提供**
 - ・幅広い県民への参加喚起のため、分かりやすいポータルサイトの開設と、医師も参加する地域健康コミュニティの提供。
 - ・異なるシステムとの親和性・利便性確保のため、本実証事業のシステムと既存医療ITシステム間をひとつのIDで統合できるID管理機能の構築を行い、将来健康サービス事業者等の新規システムが追加しやすくする。
- 4. 地域医療情報ハブ内システム間連携による、医療情報の施設間共有機能の提供**
 - ・病院間や健診事業者、調剤薬局間での医療・情報の共有、個人のヘルスケア情報(病歴、薬歴など)の参照及び通年管理。



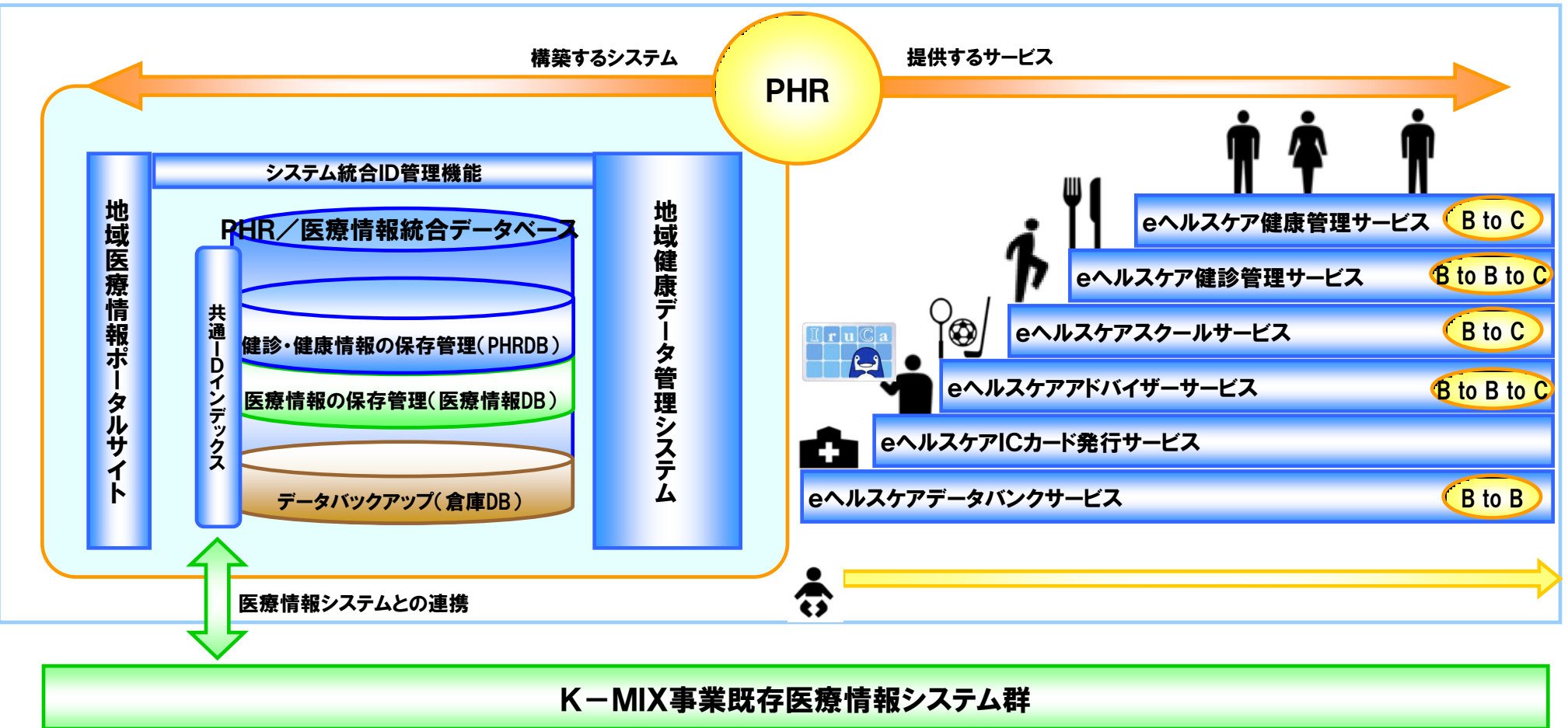
県民の“健康管理意識の向上”

構築するシステムおよびサービス

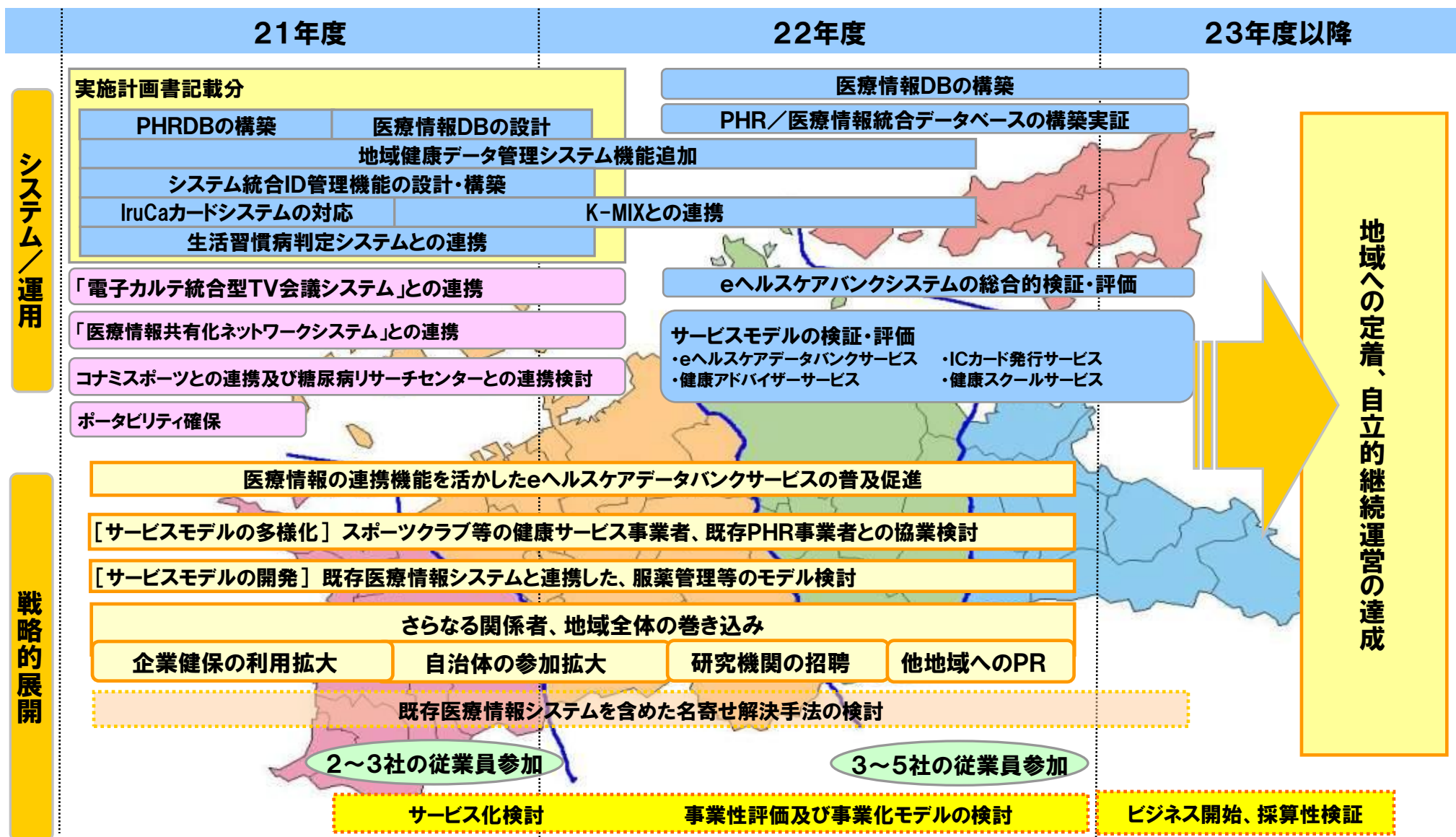
実証事業の範囲

実証事業範囲

これまで香川県下では、既存の医療情報システムが複数稼働しているが、個人向けの健康情報管理や情報開示等の仕組みが不足していた。本事業では、健康情報活用基盤として下記の通りPHRを構築し各種サービスを実証する計画であるが、PHRとしての有効性及び利用価値をより高めるために、既存医療情報システムとの連携がどの程度実効性を持つかについてもあわせて実証するため、積極的に連携を実施して行く計画としている。



21年度以降のロードマップ



地域への定着、自立的継続運営の達成